

園芸振興大会の開催について

令和元年に策定された「新潟県園芸振興基本戦略」の最終年度にあたり、これまでの取り組みを振り返るとともに次期戦略の方向性を共有し、本県園芸のさらなる生産拡大をはかるため、新潟県・JA新潟中央会・JA全農にいがたは、令和7年1月に「令和6年度新潟県園芸振興大会」を開催いたしました。(会場：ANAクラウンプラザホテル新潟)

★会場には、花角新潟県知事をはじめ、JAグループ伊藤会長ほか、生産者、JA、関係機関が参集し、WEBを含め、総勢549名が参加しました。



●主な内容

(1)情勢報告

- ア. 新潟県園芸振興基本戦略の進捗状況と次期戦略の方向性について(新潟県)
- イ. JA全農にいがた 園芸生産拡大の取り組みについて(JA全農にいがた)



(2)事例発表

「JA新潟市園芸産地育成の取り組み

～南浜ハウス団地～」(JA新潟市)



(3)講演

ア. 「産地連携の取り組みと県内園芸産地への期待」(新潟中央青果(株))

→青果卸売市場の現状と「雪国レモン俱楽部」立ち上げによる産地づくりの取り組みについて、ご講演いただきました。



イ. 「次世代の園芸産地を担う経営体育成に必要な職場環境づくり」(ミナミ事務所)

→農業分野においても、労働環境の整備や働きやすい職場づくりが求められている現状について、ご講演いただきました。



(4)産地代表からの決意表明(ガンバローア三唱)

「JA新潟かがやき いちじく部会」、「JA魚沼 ねぎ生産組合」、「JAえちご上越 えだまめ部会」の代表者から園芸拡大の意気込みを決意表明していただき、その後、参加者全員でガンバローア三唱をおこないました。



●園芸生産拡大に向けて

JA全農にいがたは、農業者の所得向上に向け、3つの視点で園芸事業に取り組みます。

- 園芸生産拡大の着実な実践
- 販売力の強化
- 園芸資材の取組強化



今後も県・関係機関との連携を強化し、園芸生産拡大に取り組みます。多様な品目があるなかで、園芸振興をもって生産を拡大し、新潟県産農産物のブランド化を目指していきましょう！

(園芸部 園芸振興課)